



環境リスクPress

2024年1月発行 / VOL.46

環境リスク関連ニュース

安全運転管理者の業務の拡充等(2023/12J)

業務使用の自家用自動車における飲酒運転防止対策を強化することを目的として、令和3年の道路交通法施行規則の改正により、

① 安全運転管理者に対し、目視等により運転者の酒気帯びの有無の確認を行うこと及びその内容を記録して1年間保存することを義務付ける規定(令和4年4月1日から施行)

② 安全運転管理者に対し、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無の確認を行うこと並びにその内容を記録して1年間保存すること及びアルコール検知器を常時有効に保持することを義務付ける規定が設けられた。令和5年の道路交通法施行規則の改正により、令和5年12月1日より施行された。

- 運転者の酒気帯びの有無の確認をアルコール検知器を用いて行うこと
- アルコール検知器を常時有効に保持すること

三重県)四日市の石原産業で基準値最大1675倍の土壌汚染(2023/12J)

四日市市は1日、同市石原町の石原産業四日市工場で基準の最大1675倍の「1,2-ジクロロエタン」などが検出されたと発表した。地下水への汚染はなく、健康被害も報告されていない。市は同日、工場へ立ち入り調査に入った。当該農薬製造工場跡地の一部で新たに工場建設工事を行うにあたり、三重県生活環境の保全に関する条例第72条の2第1項の規定に基づき地歴調査を行い、工場建設予定地(3,805平方メートル)において、当該敷地内で使用履歴のある有害物質および汚染のおそれのある有害物質について、自主的に土壌・地下水調査を実施した。調査の結果、「ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、ふっ素及びその化合物、セレン及びその化合物、砒素及びその化合物、鉛及びその化合物」の土壌環境基準不適合が確認された。なお、調査区域の地下水流下流側の地下水を調査したところ、地下水基準に適合していたことから地下水を通しての汚染の拡散はないと考えられます

環境リスク関連ニュース

兵庫県)加西市の山中に瓦礫等廃棄物82tを不法投棄 5人逮捕(2023/9)

廃棄物処理法違反の疑いで逮捕されたのは、加古川市の解体工事会社の元取締役で50代の自営業の男と、30代の会社員の男ら合わせて5人。2021年9月8日、当時、同じ解体工事会社に勤務していた従業員の男3人と共謀して、建物の解体で出たコンクリートなどがれきや木くずなど合わせておよそ70トンの廃棄物を、加西市の山中にダンプカーで6回に分けて運び捨てた疑いが持たれている。更に、自営業の男は、2021年9月1日にも、従業員の男2人と共謀して、がれきなど合わせて12トンを加西市の山中に捨てた疑いが持たれている。警察が別の産業廃棄物の不法投棄を捜査する中で、加西市の山中に捨ててあったがれきを発見した。

京都府)和束町の山中に廃棄物不法投棄 大阪の建設業代表逮捕(2023/9)

令和5年3月、和束町の山中に、木くずやコンクリート片などを不法に投棄したとして、大阪府の建設業の代表が警察に逮捕された。木くずやコンクリート片などの廃棄物が入った袋10個、あわせておよそ12.99㎡不法に投棄したとして、廃棄物処理法違反の疑い。廃棄物が捨てられていた土地の所有者から通報が寄せられ、近くの防犯カメラを調べたところ、袋を載せた2台のダンプカーが現場の方向に走っていく様子が写っていたという。

外国人解体業者の杜撰工事による工事停止(2023/12J)

京都品川区で9月初め、ビジネスホテルの解体工事をめぐり住民から苦情が相次ぎ、区は請負業者に工事停止を指示した。工事は土地を所有する東京都新宿区の不動産会社が埼玉県蕨市の中国系建設会社へ税込み1340万円で発注。この会社が東京都台東区のトルコ人業者へ450万円で下請けに出したという。更に川口市内で解体業を営むクルド人5人に仕事を発注しており、尚、中国系業者は本社所在地を訪ねたが無人で、名刺の電話番号も通じず、現在は日本事業者が請け負っている。

過去の環境リスクPressはこちらから [環境リスク.COM](https://www.kankyorisk.com) <https://www.kankyorisk.com>

【発行】 アスベックス株式会社

〒194-0023 東京都町田市旭町2-7-8

[TEL]042-726-0744 [FAX]042-726-0726